

平成30年度 指導計画・評価計画表

【2年生 社会科】指導者名：服部 隆・岡田 悠

観点：①【社会的事象への関心・意欲・態度】 ②【社会的な思考・判断・表現】 ③【資料活用 of 技能】 ④【社会的事象についての知識・理解】

歴史的分野

指導単元	観点	単元の評価規準(学習評価表)	具体的評価規準(おおむね満足 B)	評価方法・場面	弱点克服
共通事項	①	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に参加し、意欲的に学ぼうとしている。 ・教科書や資料集などを活用して、意欲的に調べようとしている。 ・プリントや課題をしっかりと仕上げる事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で、質問や発言ができる。 ・教科書から重要語句を読み取り、プリントにきちんと写すことができ、提出できる。 ・プリントや課題を仕上げ、提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント ・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・未提出者への連絡
近世の日本 1 【武家政権の展開と世界の動き】	②	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の歴史的事象や人物の行為について諸資料を多面的・多角的に考察し、その目的を自分なりに推察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信長・秀吉の政策の新しさに関心を持ち、彼の人物像を意欲的に調べようとする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・小テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・未提出者への連絡 ・質問教室
近世の日本 2 【江戸幕府の成立と鎖国] (4～5月)	③	<ul style="list-style-type: none"> ・図や史料から、政策や歴史的事象について調べ、まとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府が260年も続いた理由について諸資料を使って推察することができる。 ・江戸幕府が貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由について、諸資料を収集することができる。 		
	④	<ul style="list-style-type: none"> ・安土・桃山時代の特徴をつかみ、政治・社会の大きな変化について理解できる。 ・近世の歴史的事象を多面的・多角的に理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の意味とその体制が長期政権を可能にした理由が理解できる。 		
近世の日本 3 【産業の発達と幕府の政治の働き] (8～9月)	②	<ul style="list-style-type: none"> ・身分制度の確立及び農村の様子、産業や交通の発達、町人文化や各地方の生活文化などについての関心を高め、意欲的に追究し、さまざまな文化遺産を尊重できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身分制度が確立し、それぞれの身分の中で人々が職分を果たした事、人口の多数を占めた農民が村を生活の基盤として農作業などで助け合いながら暮らしていた事、農村が幕府や藩の経済を支えていた事を考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・小テスト ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・未提出者への連絡 ・質問教室
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・身分制社会の中で、人々はそれぞれどのような生活をしてきたのか、資料などから読み取ってまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武士、百姓、町人の暮らし、仕事、権利などについて適切に読み取り、表にまとめることができる。 		

	4	・江戸時代の国内産業は、どのような背景の中で発達したのか、またどのような産業がどこで発達したのかを理解できる。	・商品作物とはどのようなもので、それらの生産がさかんになった理由を理解している。		
開国と近代日本の歩み1 【欧米の進出と日本の開国】 (10～11月)	2	・欧米諸国における近代社会の成立という観点から、アメリカとフランスで起こった市民革命を取り上げ、近代民主政治への動きが生まれたことを考察する	・欧米諸国における近代化についての関心を高め、近代という時代の特色を考えて、自分の言葉で表現しようとしている。	・プリント ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・アメリカとフランスで起こった市民革命とはどのような動きか、またその動きはどのようにして広まったのか、人権宣言などの資料などから読み取る。	・フランス革命前後の税の負担を表した風刺絵をみて、社会がどのように変化したのかを読み取ることができる。		
	4	・産業革命の進展に伴って、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解できる。	・国際的な視野を含む幅広い角度から我が国の歴史の大きな流れを考え、理解している。		
開国と近代日本の歩み2 【明治維新】 (1月)	2	・富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革を取り上げ、近世から近代への転換のようすを、近世の政治や社会との違いに着目して考察し、自分の言葉で表現できる。	・近世から近代へと移り変わる社会のようすに関心を高め、近世と近代の違いやそれぞれの時代の特色を考え、自分の言葉で表現しようとしている。	・プリント ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・新政府はどのような国家をめざしたのか、またそれに対して、人々はどのような思いをもっていたのか、資料などから読み取ることができる。	・『廃藩置県』の資料を参考にして、自分の住んでいる都道府県が現在の形になるまでどのような変化があったかを読み取ることができる。		
	4	・欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことを理解できる。	・国際的な視野を含む幅広い角度から我が国の歴史の大きな流れを考え、理解している。		
開国と近代日本の歩み3 【日清・日露戦争と近代産業】	2	・条約を改正し、欧米諸国と対等の外交関係を樹立しようとした人々の努力に気づくことができる。	・条約の改正で大きな役割を果たしたと考えられる人物について自ら進んで調べ、発表している。	・プリント ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・日清・日露戦争の勝利を世界はどのように評価したのか、またその後、朝鮮・中国ではどのようなことが起こったのか、資料などから読み取る。	・日露戦争後の朝鮮と中国の動きを理解し、「韓国併合」「辛亥革命」という言葉を使ってそれぞれの動きを説明することができる。		

(2月)	4	・大陸との関係に着目させ、日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを扱い、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	・帝国主義とはどのような動きかを理解し、その知識を身につけている。		
------	---	--	-----------------------------------	--	--

地理的分野

指導単元	観点	単元の評価規準(学習評価表)	具体的評価規準(おおむね満足 B)	評価方法・場面	弱点克服
共通事項	1	・授業に積極的に参加し、意欲的に学ぼうとしている。 ・教科書や資料集などを活用して、意欲的に調べようとしている。 ・プリントや課題をしっかりと仕上げる事ができている。	・授業で、質問や発言ができる。 ・教科書から重要語句を読み取り、プリントにきちんと写すことができ、提出できる。 ・プリントや課題を仕上げ、提出できる。	・授業観察 ・プリント ・課題	・未提出者への連絡
日本の地域構成 (5～6月)	2	日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・世界の中で日本の位置を理解し、絶対的位置や相対的位置の方法によって表現できる。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・地球儀や地図など日本の地域構成に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「古代の五畿七道による区分」, 「昔の国の区分」から、現在の都道府県の区分との違いについて読み取っている。		
	4	・日本の地域構成について、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。	・47都道府県の位置と名前、各県庁所在地の名前、7地方区分の名前と位置を正確に示すことができる。		
世界から見た日本のすがた (7月)	2	・世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野からみた自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・日本の過疎・過密の問題と少子化・高齢化について、なぜそうした傾向が生じるのか、今後どのような課題が予想されるのか、さまざまな観点から考察している。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・世界と比べた日本の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「主な国の人口構成と日本の人口構成の変化」から、世界的な人口の動向と人口ピラミッドの意味を把握し、文章などにまとめている。		

	4	・世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野からみた自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきを理解し、その知識を身に付けている。	・世界の気候帯や日本の気候区分を地図を活用して示すことができ、各地の気候の成因について理解し、その知識を身に付けている。		
日本の諸地域 ① 九州地方 (10月)	2	・九州地方の地域的特色を、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・水俣病の原因やその経過、被害の実態を調べながら、水俣市がその後どのように公害防止に取り組み、具体的な政策を行ったかを説明している。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への 連絡 ・質問教室
	3	・九州地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「九州地方の火山分布と各地のハザードマップ」から、九州には火山が多く南北に連なって分布していることを読み取っている。		
	4	・九州地方について、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・九州地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解している。また、日本の南西部に位置するため温暖な気候にあり、台風の被害を受けやすいことなどを理解している。		
日本の諸地域 ② 中国・四国地方 (10～11月)	2	・中国・四国地方の地域的特色を、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・林業を例に、木材の輸入自由化が木材価格の下落を呼び、その結果森林の間伐や枝打ちが行われなくなり、雨が降ると土砂が流れたり山崩れの原因になることを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への 連絡 ・質問教室
	3	・中国・四国地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「都道府県別、中国・四国地方の市区町村別の人口増減率」から、日本全体と中国・四国地方の地域的特色やその動向を読み取っている。		
	4	・中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・中国・四国地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解するとともに、人口の分布の特色から3つの地域に区分できることを理解している。		

日本の諸地域 ③ 近畿地方 (11月)	2	・近畿地方の地域的特色を、歴史的背景を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・京阪神大都市圏の交通網の整備とニュータウンなどの都市発達の特色について考え、説明している。また、関西国際空港の位置と課題について指摘している。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・近畿地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「京都市の街並み」、 「平安京の大路と現在の市街地の広がり」 から、京都の地割の特色を読み取っている。		
	4	・近畿地方について、歴史的背景を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・近畿地方の位置と自然環境を大観し、構成する府県の位置と名称を理解するとともに、大まかな歴史的背景を理解している		
日本の諸地域 ④ 中部地方 (11～12月)	2	・中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・中央高地の農業や工業、観光業の特色を自然的条件や歴史的背景をもとに考え、その利点を説明している。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・中部地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「日本の漁獲量の変化」から、遠洋漁業や沖合漁業、輸入量との関係に気づき、その理由を読み取り、「日本の主な漁港と水揚げ量」から、主な海流と漁港の分布の関係などを読み取っている。		
	4	・中部地方について、産業を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・中部地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称、東海地方・中央高地・北陸地方の地域名と範囲を理解している。		
日本の諸地域 ⑤ 関東地方 (12月)	2	・関東地方の地域的特色を、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・関東地方で工業地域が拡大した理由を、用地や労働力の確保、交通網の発達と関連づけて考察している。	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への連絡 ・質問教室
	3	・関東地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「東京23区への通勤・通学者人口の分布」から、東京への通勤・通学圏が、鉄道網に沿って放射状に広がっている様子を読み取っている。		

	4	・関東地方について、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・関東地方の位置と自然環境を大観し、構成する都県の位置と名称を理解するとともに、日本の中の中心性や各地との結びつきを理解している。		
日本の諸地域 ⑥ 東北地方 (1月)	2	・東北地方の地域的特色を、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・農村地域の景観の変化について、農村の都市化、農業の機械化、地域の工業化、国際化などと結びつけて考察している	・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への 連絡 ・質問教室
	3	・東北地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「東北地方の伝統工芸品の分布」から、各地の工芸品について読み取っている。		
	4	・東北地方について、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・東北地方について、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。		
日本の諸地域 ⑦ 北海道地方 (1月)	2	・北海道地方の地域的特色を、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・アイヌ文化振興法が制定されてからの変化を、それ以前の様子と比較しながら説明している。	・ノート ・プリント ・白地図 ・小テスト ・定期テスト	・未提出者への 連絡 ・質問教室
	3	・北海道地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・「日本の耕地面積に占める都道府県別割合」、「北海道と全国の耕作面積の比較」から、北海道の農業の特色を読み取っている。		
	4	・北海道地方について、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・北海道地方の位置や自然環境を大観し、主な都市の位置と名称、自然環境の改変と明治政府の政策との関連を理解している		

<p>身近な地域の調査</p> <p>(3月)</p>	<p>2</p>	<p>・身近な地域の地理的事象から課題を見だし、身近な地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。</p>	<p>・地形図や景観写真の新旧比較、文献資料、聞き取り調査などから地域の変化を読み取り、文章や図にまとめている。</p>	<p>・ノート</p> <p>・プリント</p> <p>・白地図</p> <p>・小テスト</p> <p>・定期テスト</p>	<p>・未提出者への連絡</p> <p>・質問教室</p>
	<p>3</p>	<p>・身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p>	<p>・縮尺とそれに応じた表現の違いをふまえて、地形図上の長さ与实际の距離の関係をとらえ、必要な情報を読み取っている。</p>		
	<p>4</p>	<p>・身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>・地形図上の方位、地図記号、等高線のしくみについて理解し、それを基に身近な地域について知識として身に付けている。</p>		